

～ 玖珠町役場のお仕事を紹介 ～

令和4年4月1日に、玖珠町役場に就職した芝原さんにインタビューをしました。
芝原さんは東京都出身ですが、祖父母が居る玖珠町へIターンして玖珠町役場に就職しました。

●今、どのような仕事をしていますか？●

農林課農政班で、主に米の生産量調整の仕事をしています。具体的には、米から他の作物に転作する農業者の補助金申請を受付して、生産作物の現地把握などを行い、補助金を支給します。

農家さんに高収益な作物を生産してもらい、皆さんの所得向上を目指しています。

農林課は、玖珠町役場1階(北側)にあります。デスクワークだけでなく、農地に出向くこともある職場です。



●採用されて1年が経ちました。仕事で一番印象に残っていることは何ですか？●

(芝原さんは、採用1年目は「商工観光政策課・広報デジタル化推進班」でお仕事をしていました。)

1回目のテレビの仕事です。最初は「冗談だ!」と思っていました...が冗談じゃなかったです。採用1年目で役場内の仕事もよく分かっていない時であり、ましてや「東京から引っ越して約3週間の自分が玖珠町を紹介しても良いのか?ちゃんと伝わるのか?」が不安だったから、1番印象に残っています。

●就職する前の玖珠町役場の印象を教えてください●

人数が少なく、庁舎内の仕事がほとんどで、高齢者と接する機会が多いイメージでした。

●働いてみて、就職する前の印象は変わりましたか？●

人数に関しては想像(70~80人くらい)よりも多かったです。

仕事に関しては、庁舎内での仕事が主であることは変わらないですが、部署によると思います。週に1回以上は外に出るため、思っていたよりも現場が多い印象です。

また、接する年齢層に関しては、部署によって全く異なるなという印象に変わりました。

●玖珠町役場を受験する人にメッセージをお願いします●

市役所みたいに大きい職場ではありませんが、大きくないからこそ個人で仕事をするというより全員で助け合いながら仕事を進めていく雰囲気が強い職場です。

経歴、経験が異なるからこそ自分自身の意志、考え、意見を持ち、伝えることが大切だと思います。一緒に玖珠町で働けることを楽しみにしています。

◆芝原さんのお仕事を取材◆

農家の経営所得安定対策(米から別の作物を作ることで所得を安定させる)事業の現地確認に行きました。事前に調べて早めに現地に着。住民から「頑張ってくれているよ。」と、激励の言葉もいただきました。



①地域の方に農地の場所を教えてください。

②「ここだ!」農地を地図と照らし合わせて、目的地に到着。



③確認した証拠写真を撮影。パシャッ!

④最後に書類に確認のサインをもらいます。

